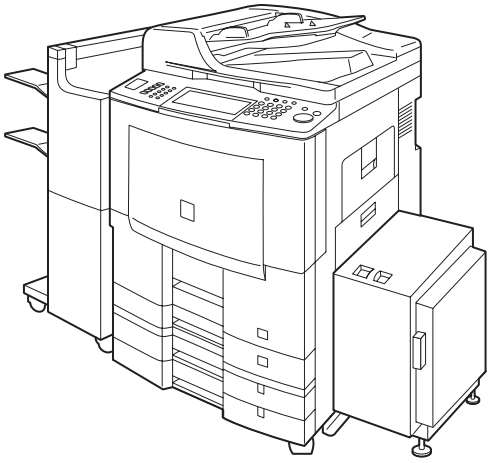


Panasonic

取扱説明書
（セットアップ編）
デジタル複合機

品番 DP-8060 / 8045 / 8035

目次

セットアップの概要 2
- 本機とコンピューターの接続方法 2

ネットワーク環境の設定 7

各種ドライバーのインストール 10
- ネットワーク環境へのプリンタードライバーのインストール 11
- ローカル環境へのプリンタードライバーのインストール 15
- ファクスドライバーのインストール 19

各種機能の設定 22
- ネットワークプリンターの共有化 22
- クライアントコンピューターの設定 27
- PC 情報の自動登録 28
- インターネット FAX/E メールの設定 29
- ファクスの設定 34
- Job Status Utility の設定 37

このたびはパナソニック デジタル複合機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

WORKIO™

■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
■**特に「安全上のご注意」(『基本編』)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。**
お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。

● イラストはオプションを装着した例です。

上手に使って上手に節電

セットアップの概要

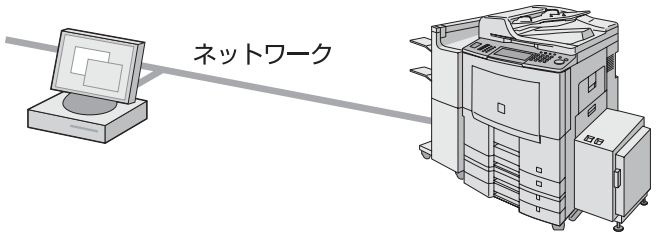
本機とコンピューターの接続方法

本機とコンピューターの接続方法には、ネットワークダイレクト接続、ネットワークプリントサーバー接続、ローカル接続（パラレル）の３種類があります。ご使用の環境に合わせて接続してください。

● １台のコンピューターから、ローカル（パラレル）とネットワークの両方へ接続することもできます。

■ ネットワークダイレクト接続

プリントサーバー（プリンターを管理するコンピューター）を使用しない接続方法です。
印刷ジョブは、ネットワークプリンターへ直接送信されます。



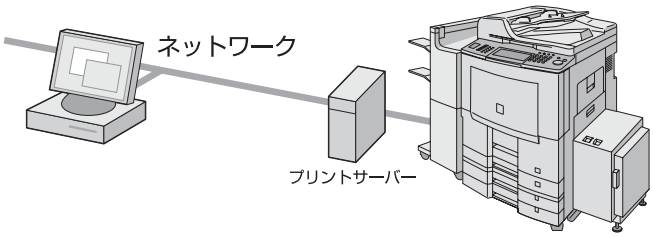
● セットアップ方法：
お使いのコンピューターにプリンタードライバーをインストールします。
「ネットワーク環境へのプリンタードライバーのインストール」（p.11）を参照してください。

● ネットワークに DHCP サーバーが設定されていない場合は、プリンタードライバーをインストールする前に、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを本体に設定する必要があります。「ネットワーク環境の設定」（p.7）を参照してください。

● ネットワークに DHCP サーバーが設定されている場合、本機の電源を切／入すると、付与される IP アドレスが変更されることがあります。この場合は、ネットワークのサーバーで、本機に割り当てる IP アドレスを固定化するように設定してください。

■ ネットワークプリントサーバー接続

プリントサーバー（プリンターを管理するコンピューター）を経由して印刷する接続方法です。
印刷ジョブは、プリントサーバー経由で、共有設定されたプリンターへ送信されます。



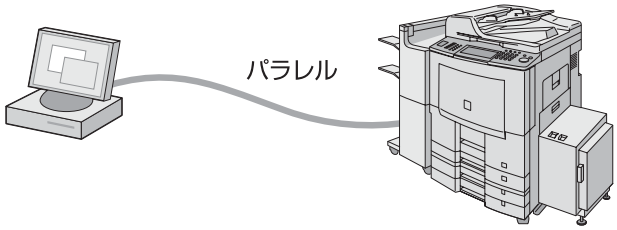
● セットアップ方法：
次の順に設定します。

①サーバーコンピューターにプリンタードライバーをインストールする
②ネットワークプリンターを共有化する
③クライアントコンピューターで、プリンターを設定する

「ネットワーク環境へのプリンタードライバーのインストール」（p.11）、「ネットワークプリンターの共有化」（p.22）、「クライアントコンピューターの設定」（p.27）を参照してください。

■ ローカル接続（パラレル）

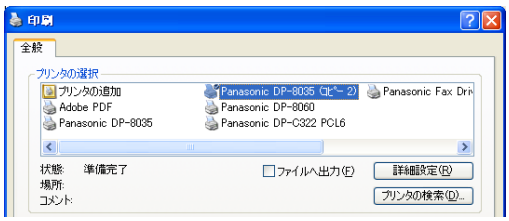
ネットワークを使わず、直接コンピューターとプリンターを接続する方法です。



● セットアップ方法：
お使いのコンピューターにプリンタードライバーをインストールします。
「ローカル環境へのプリンタードライバーのインストール」（p.15）を参照してください。

■ ローカルとネットワークの両方へ接続した場合

ローカル接続（パラレル）とネットワークプリンター、いずれのプリンターも正常に動作します。アプリケーションソフトの印刷画面のプリンター一覧表示から、印刷するプリンターを切り替えることができます。

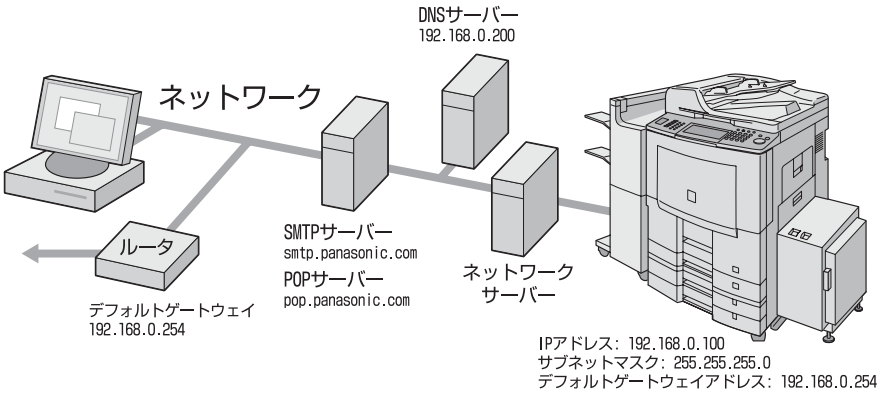


● ネットワーク接続プリンター
プリンター名の先頭に、サーバー名が自動的に付加されます。
ネットワークダイレクト接続時は、サーバー名が付加されませんので、プリンター設定画面で名称を変更しておくと便利です。

■ ネットワーク接続の例

ネットワーク、E メール / インターネット FAX の設定は、お客様の環境により、設定内容が異なります。

（例）DNS サーバーを使用したネットワーク



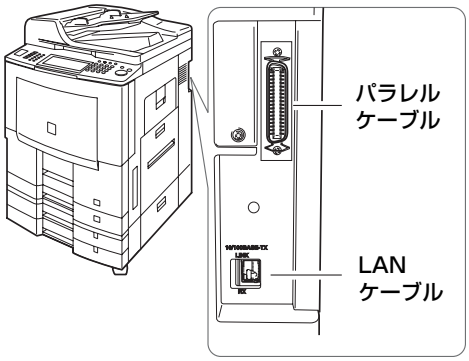
● ご使用の環境に合わせて設定するには、お買い上げの販売店またはサービス実施会社によるコンサルティングとカスタマイズが必要となります。
詳しくは、お客様のシステム管理者を通じ、お買い上げの販売店またはサービス実施会社にお問い合わせください。

本機は、下記の手順でセットアップしてください。

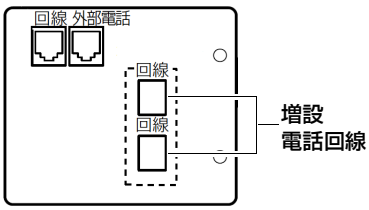
- 本書では、本機の操作パネルでの操作と、コンピューター側にソフトウェアをインストールする操作の両方を説明しています。
- 最初に、手順全体をお読みいただき、概要を把握してから実際のセットアップを行うことをお勧めします。

1 ケーブルを接続する

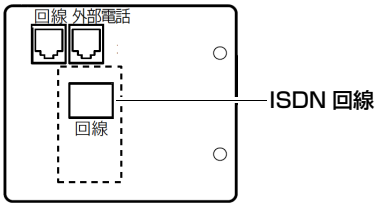
オプションの装着状況に合わせ、必要なケーブルを接続します。



- パラレルケーブルは、本機をローカルプリンターとして使用するときに接続します。
- 電話回線、外部電話は、オプションの G3 通信ユニット（DA-FG432）が装着されているときに接続します。
- オプションの G3 増設ユニット（DA-FG433）を装着している場合は、次の図にしたがって、電話回線を接続します。



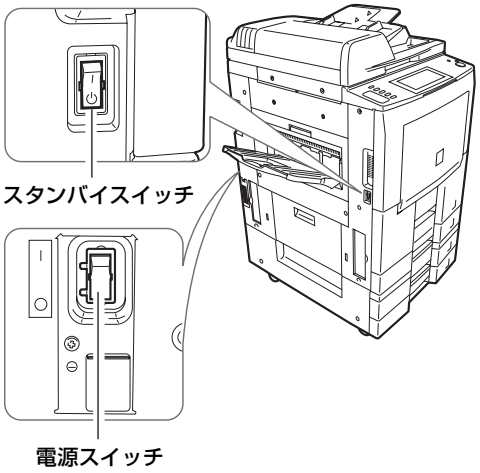
- オプションの G4 通信ユニット（DA-FG442）を装着している場合は、次の図にしたがって、ISDN 回線を接続します。



2 本機の電源を入れる

電源スイッチ、スタンバイスイッチの順に電源を入れます。

・電源スイッチ　　：背面にあります。
・スタンバイスイッチ：左側面にあります。



- 本機の電源は、電源スイッチとスタンバイスイッチの両方を「入」にしないと入りません。

電源スイッチ

｜：入 ○：切	長期間使用しないときは、「切」にされることをお勧めします。

スタンバイスイッチ

｜：入 ⏻：切	始業時に「入」、終業時に「切」にします。 以降のセットアップ手順で電源を入、切するときは、このスイッチを操作します。

お願い

- 下記のセットアップ手順は、お使いのコンピューターの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法を習得されていることを前提に説明しています。
- お使いのコンピューターの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法については、コンピューター、オペレーティングシステム、ネットワークシステムに付属のマニュアルをお読みください。

3 ネットワーク環境を設定する

本機の操作パネルで、ネットワーク環境を設定します（p.7）。

- ネットワーク環境は、システム管理者が設定してください。

4 インストールする

「各種ドライバーのインストール」（p.10）を参照し、プリンタードライバー、ファクスドライバー、アプリケーションソフトウェアをインストールします。

- プリンタードライバーのインストール方法は本機とコンピューターの接続方法により異なります。
  インストールする前に、システム管理者にご相談ください。
  接続方法については、「本機とコンピューターの接続方法」（p.2）を参照してください。
- ネットワークプリントサーバー接続の場合は、システム管理者がインストールしてください。
- ファクスドライバー（PC ファクス用）
  コンピューターからの印刷データを、直接本機でファクス送信したい場合は、コンピューターにファクスドライバーをインストールします。
- アプリケーションソフトウェアは、必要に応じてインストールしてください。
  アプリケーションソフトウェアについては、『Panasonic Document Management System CD-ROM』内の各ソフトウェアの取扱説明書およびヘルプを参照してください。

5 コンピューターを設定する

必要に応じて、次の設定をします。

■ ネットワークプリンターの共有化

ネットワークサーバー接続の場合は、サーバーコンピューターで、ネットワークプリンターを共有化します（p.22）。

- システム管理者がインストールしてください。

■ クライアントコンピューターの設定

ネットワークサーバー接続の場合は、クライアントコンピューターで、プリンターを設定します（p.27）。

■ スキャナー機能

ネットワークスキャナーを設定します。

① コミュニケーションユーティリティ をコンピューターにインストールします（p.11）。
② コンピューター上でコミュニケーションユーティリティを設定します（p.28）。

6 オプション機能を設定する

必要に応じて、次の設定をします。

■ ファクス機能

オプションの G3 通信ユニット（DA-FG432）を装着している場合は、ファクス機能を設定します。

① ファクスドライバーをインストールします（p.19）。
② 自局情報（発信元情報、文字 ID、数字 ID）、回線の種別などを設定します（p.34）。
③ アドレス帳を設定します。

- 設定方法は、『G3 通信 / インターネット FAX/E メール編』を参照してください。

■ インターネット FAX / E メール機能

インターネット FAX/E メールユニット（DA-NF600）を装着している場合は、インターネット FAX / E メール機能を設定します。

① 本機の操作パネルでネットワーク環境を設定します（p.29）。
② E メール環境を設定します。
③ アドレス帳を登録します。

- 設定方法は、『G3 通信 / インターネット FAX/E メール編』を参照してください。

7 ソフトウェアをインストールする

必要に応じて、Panasonic ダウンロードサイトから、ソフトウェアをダウンロードしてインストールします。

Panasonic ダウンロードサイトからは、次のソフトウェアをダウンロードできます。

■ Document Manager/Document Viewer

ネットワークスキャナー機能を使用するときに使います。

■ Panafax Desktop

コンピューターからファクス送信したい場合に使います。

■ Web Device Monitor

本体の設定を Web ブラウザーから閲覧するときに使います。

■ Device Monitor 追加モデル

本体の設定を Web ブラウザーから閲覧するときに使います。

- Mac OS 環境に本機を接続することはできません。
- NetWare 環境に本機を接続する場合は、「IPX-SPX setup utility」のインストールが必要です。『Panasonic Document Management System CD-ROM』を参照してください。

用語

IPX/SPX
(Internetwork Packet Exchange/ Sequenced Packet Exchange)
Novell NetWare が使用するネットワークおよびトランスポートレベルのプロトコルのことです。

NetWare
Novell Corporation が開発した、ローカルエリアネットワーク (LAN)OS のことです。

プリントサーバー
ひとつまたは複数のプリンターを管理するコンピューターのことです。
ネットワーク上に接続されているコンピューターからプリンターに送られてくるプリントジョブを、受信順にコンピューターから指定されたプリンターへ排出します。

パラレル
複数の信号線で同時に複数のビットを転送するパラレル転送方式でコンピュータ本体と周辺機器を接続するインターフェースのことです。プリンターなどとの接続に使われるセントロニクス仕様や IEEE1284 などがあります。

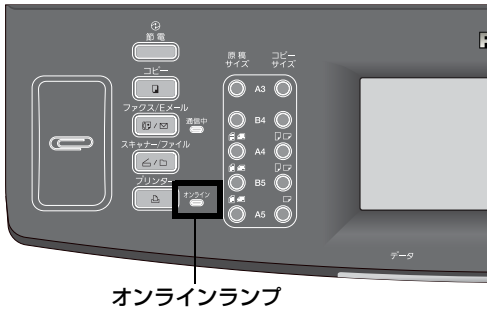
Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows NT、Windows Server、PowerPoint、Outlook は米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

ネットワーク環境の設定

お使いのネットワークに DHCP サーバーが設定されていない場合は、次の項目を必ず設定してください。
● IP アドレス　●サブネットマスク　●ゲートウェイアドレス

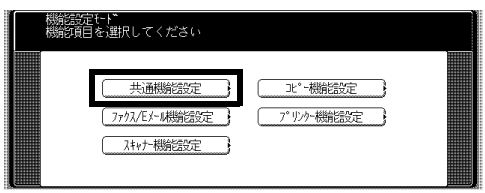
- ネットワーク環境は、システム管理者が設定してください。
- ゲートウェイアドレスの設定が終了すると、DNSサーバーやコミュニティ名などの項目が表示されます。これらは、お使いの環境に合わせ、必要に応じて設定する項目です。

オンラインランプが点灯していることを確認してから本ネットワーク設定を開始してください。

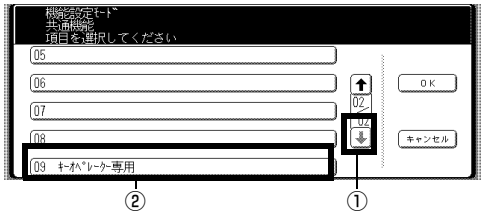


1 <ファンクション>を押す

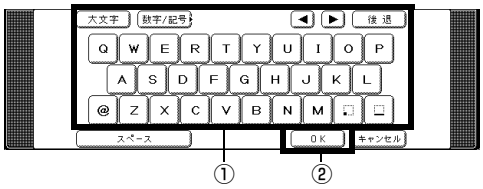
2 [共通機能設定] を押す



3 [↓] を押し、[09 キーオペレーター専用] を押す



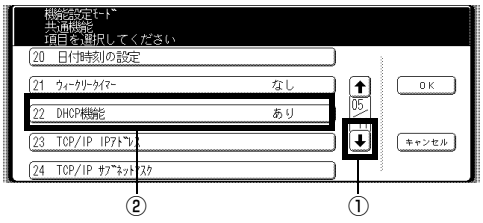
4 パスワード (8 桁) を入力し、[OK] を押す



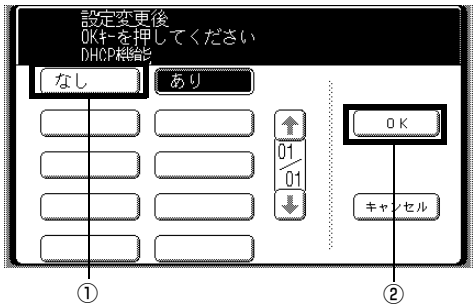
●パスワードの初期値は、「00000000」です。変更するときは、[50 キーオペレーターパスワード] で新しいパスワードを設定します。

5 [22 DHCP 機能] の設定を確認する

① [↓] を押す
② [22 DHCP 機能] を押す

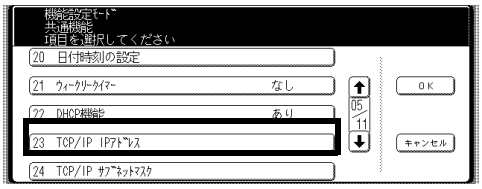


③DHCP 機能が［あり］に設定されている場合は、［なし］に変更して［OK］を押す



次のページへ続く

6 [23 TCP/IP IP アドレス] を押す

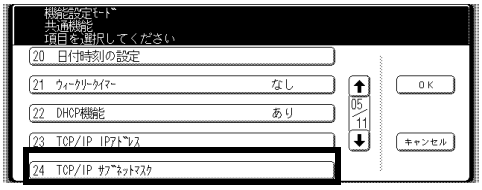


7 IP アドレスを入力し、[OK] を押す

例 : 192.168.1.100

- 1 桁または 2 桁の数値を入力するときは、次のどちらかの操作をします。
  - ・先頭に 00 または 0 を付けて 3 桁にする
  - ・数字入力後、操作パネルの [*] を押す
- 誤って入力した場合は、次の手順で修正します。
  - (1) [*] を押し、修正したい数字のブロックにカーソルを移動する
  - (2) [クリアー] を押して数字を削除し、正しい数字を入力する

8 [24 TCP/IP サブネットマスク] を押す

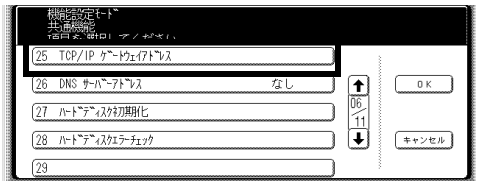


9 サブネットマスクを入力し、[OK] を押す

例 : 255.255.255.0

- 1 桁または 2 桁の数値を入力するときは、次のどちらかの操作をします。
  - ・先頭に 00 または 0 を付けて 3 桁にする
  - ・数字入力後、操作パネルの [*] を押す
- 誤って入力した場合は、次の手順で修正します。
  - (1) [*] を押し、修正したい数字のブロックにカーソルを移動する
  - (2) [クリアー] を押して数字を削除し、正しい数字を入力する

10 [↓] を押し、[25 TCP/IP ゲートウェイアドレス] を押す



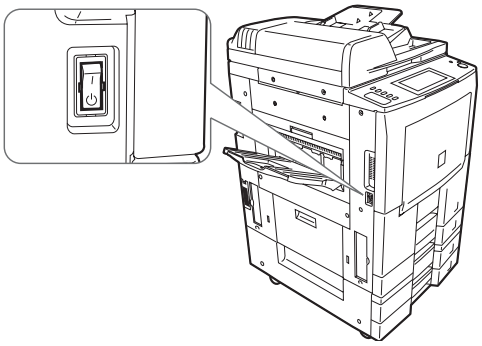
11 ゲートウェイアドレスを入力し、[OK] を押す

例 : 192.168.1.1

- 1 桁または 2 桁の数値を入力するときは、次のどちらかの操作をします。
  - ・先頭に 00 または 0 を付けて 3 桁にする
  - ・数字入力後、操作パネルの [＊] を押す
- 誤って入力した場合は、次の手順で修正します。
  - (1) [＊] を押し、修正したい数字のブロックにカーソルを移動する
  - (2) [クリアー] を押して数字を削除し、正しい数字を入力する

12 <リセット>を押す

13 スタンバイスイッチを切り、もう一度入れる



- スタンバイスイッチは、必ず切／入してください。
- スタンバイスイッチは本機の左側にあります。

各種ドライバーのインストール

■ システム環境

ハードウェア環境	PC/AT 互換機 CPU Pentium II 以上、Pentium 4 以上を推奨
OS 環境	Windows 98[*1]、Windows Me[*2]、 Windows NT 4.0[*3]（Service Pack 3 以降が必要）、 Windows 2000[*4]、Windows XP[*5]、 Windows Server 2003[*6]
メモリー	推奨メモリー容量は次のとおりです。 Windows 98、Windows Me :128 MB 以上 Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0、 Windows Server 2003 : 256 MB 以上
空きディスク容量	プリンタードライバー：40 MB 以上 Quick Image Navigator：200MB 以上 ファクスドライバー：200MB 以上
CD-ROM ドライブ	プリンタードライバーなどのソフトウェアのインストールに CD-ROM ドライブを使います。
インターフェース	10 Base-T/100 Base-TX イーサネットポート パラレルポート
アプリケーションソフトウェア	Microsoft Internet Explorer 5.0 以上

*1 Microsoft® Windows® 98 日本語版
*2 Microsoft® Windows® Millennium Edition 日本語版
*3 Microsoft® Windows® NT 4.0 日本語版
*4 Microsoft® Windows® 2000 日本語版
*5 Microsoft® Windows® XP 日本語版
*6 Microsoft® Windows Server® 2003 日本語版

ネットワーク環境へのプリンタードライバーのインストール

プリンタードライバーをインストールする前に、本機がネットワーク接続されていることを確認してください。接続されていないときは、ネットワーク管理者へご相談ください。

- ネットワークサーバー接続の場合は、システム管理者がインストールしてください。
- Windows XP の場合は、コンピューターの管理者のユーザーアカウントでログインしてください。Windows Server 2003/2000/NT の場合は、Administrator 権限でログインしてください。
- プリンタードライバーを削除（アンインストール）する場合は、付属の 「Panasonic Document Management System CD-ROM」内の『取扱説明書（Printer Driver 編）』を参照してください。

1. ソフトウェアを選ぶ

手順 2 で［完全インストール］を選択すると、自動的に次の 8 種類のソフトウェアがインストールされます。

- Printer Driver
- Quick Image Navigator
- コミュニケーションユーティリティ
- Device Explorer
- Device Monitor
- ネットワーク装置設定 / アドレス帳編集
- Fax Driver
- Job Status Utility

インストールするソフトウェアを選択したい場合は、手順 2 で［カスタムインストール］を選択し、ソフトウェアを選択してください。

（p.12）

2. インストールする

（p.12 ～ p.14）

3. コンピューターを再起動する

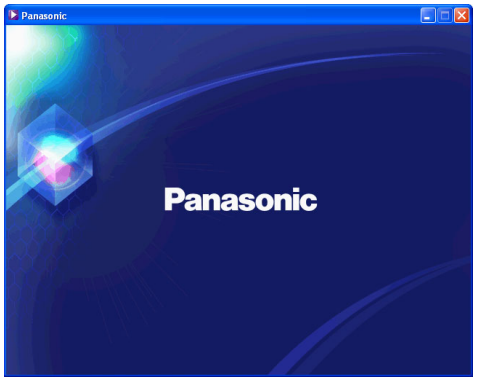
（p.14）

4. 各種機能を設定する

「各種機能の設定」（p.22）を参照し、ご使用の環境に合わせて、各種機能を設定してください。

1 付属の「Document Management System CD-ROM」を、お使いのコンピューターにセットする

CD-ROM が自動再生され、オープニング画面が表示されます。

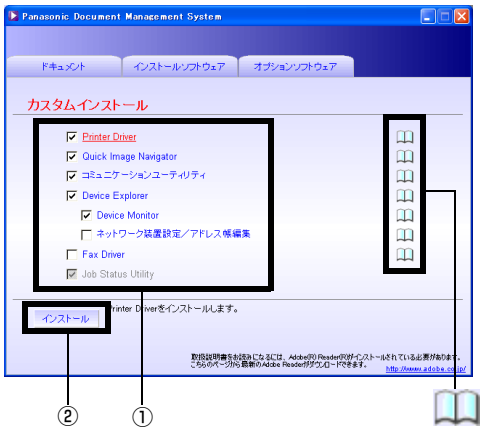


- オープニング画面が表示されない場合は、マイコンピューターを開き、CD-ROM ドライブ内の「Launch.exe」をダブルクリックしてください。

次のページへ続く

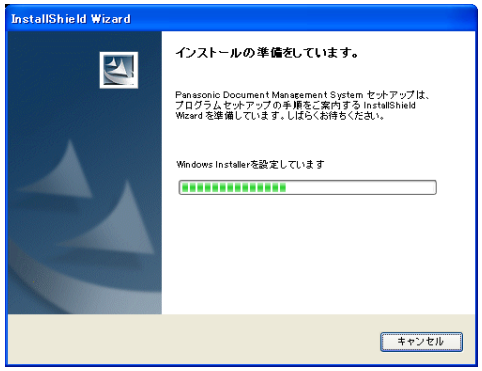
2 [完全インストール] をクリックする

[カスタムインストール] をクリックすると、インストールするソフトウェアを選択できます。
表示された画面で、ソフトウェアを選択し、[インストール] をクリックします。



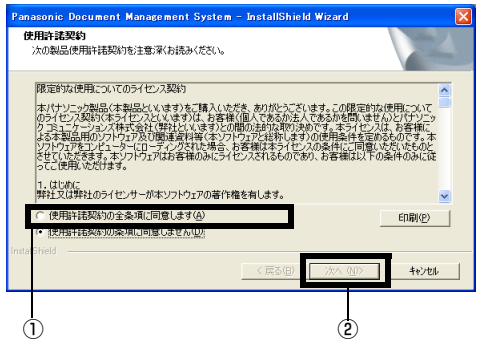
- 📖をクリックすると、各ソフトウェアの説明が表示されます。
- Printer Driver、Quick Image Navigator、コミュニケーションユーティリティ、Device Explorer、Device Monitor は、あらかじめ選択されています。インストールしない場合は、☑をクリックして選択を取り消します。
- Fax Driver は、コンピューターからの印刷データを、直接本機からファクス送信したい場合に選択します。
  詳しくは、「ファクスドライバーのインストール」(p.19) を参照してください。

セットアップの準備画面が表示されます。

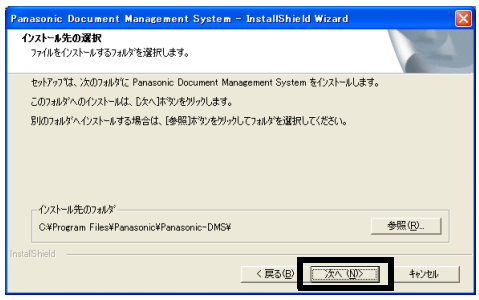


- しばらくすると、[使用許諾契約] ダイアログボックスが表示されます。

3 [使用許諾契約の全条項に同意します] を選択し、[次へ] をクリックする

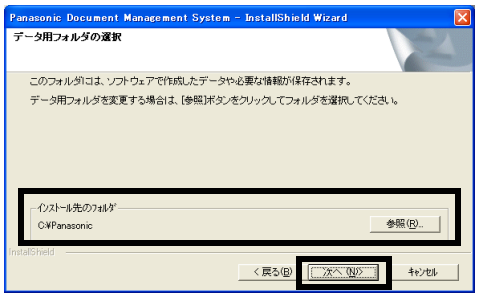


4 インストール先フォルダを確認し、[次へ] をクリックする



- すでに「Document Management System」がインストールされている場合は、上記画面は表示されません。

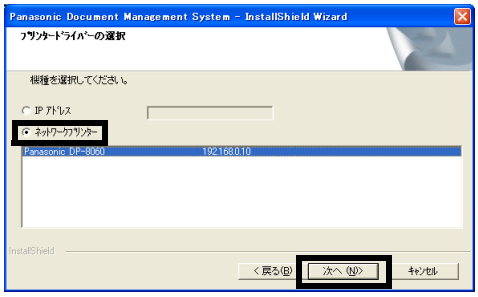
5 ソフトウェアで作成したデータを保存するフォルダを確認し、[次へ] をクリックする



- すでに「Document Management System」がインストールされている場合は、上記画面は表示されません。

手順 2 で「Printer Driver」や「Fax Driver」を選択していない場合は、手順 11 に進みます。

6 [ネットワークプリンター] が選択されていることを確認し、[次へ] をクリックする

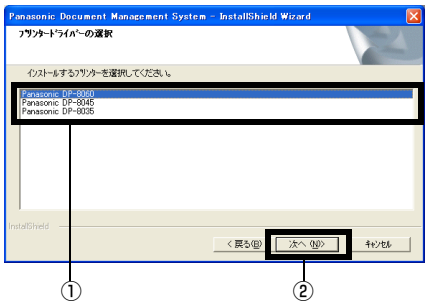


- [次へ] を押す前に、本機がネットワークに接続され、電源が入っていることを確認します。
- ネットワークに接続しているプリンターが自動的に検索され、画面に表示されます。
- 同一サブネットに接続されているプリンターだけが検索されます。

- 次の場合は、プリンターが表示されないことがあります。
  - ・サブネットが違う
  - ・プリンターがネットワークに接続されていない
  - ・プリンターの電源が入っていない

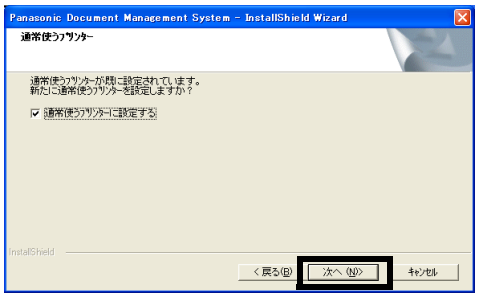
  この場合は [IP アドレス] をクリックして IP アドレスを入力します。表示された画面でプリンターを選択して [次へ] をクリックします。

  例：DP-8060



---

7 Panasonic DP-8060/8045/8035 を、通常使うプリンターとして設定する場合は、[次へ] をクリックする

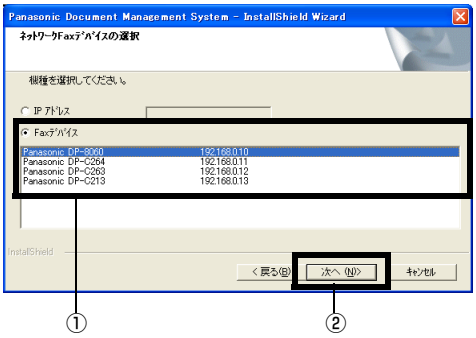


- ご使用のコンピューターにプリンターが何も設定されていないときは、上記の画面は表示されません。

次のページへ続く

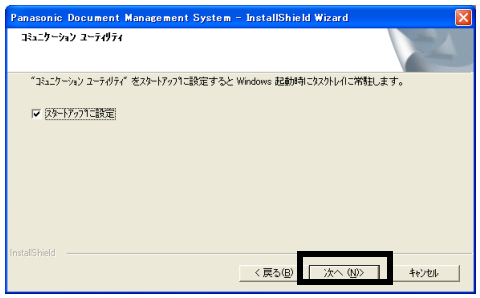
8 Fax デバイスを選択し、[次へ] をクリックする

例：DP-8060



- 同一サブネットに接続されているファクスだけが検索されます。
- 次の場合は、ファクスが表示されないことがあります。IP アドレスを入力して [次へ] をクリックします。
  - ・サブネットが違う
  - ・ファクスがネットワークに接続されていない
  - ・ファクスの電源が入っていない

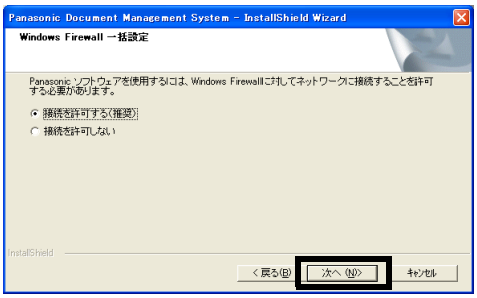
9 [次へ] をクリックする



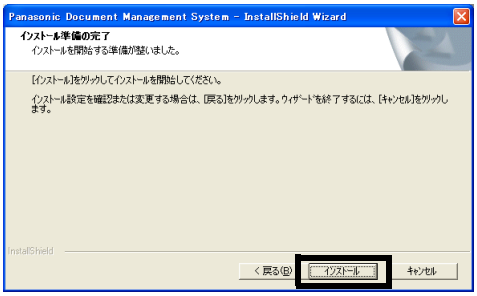
- コミュニケーションユーティリティをスタートアップに設定しない場合は、チェックボタンをクリックしてチェックマークを消します。

Windows XP Service Pack 2 がインストールされている場合は、下記の画面が表示されます。

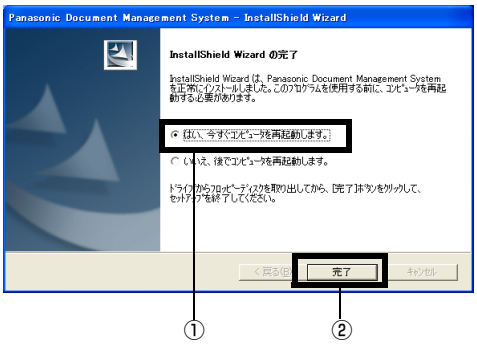
10 [接続を許可する（推奨）] を選択し、[次へ] をクリックする



11 [インストール] をクリックする



12 [はい、今すぐコンピュータを再起動します。] を選択し、[完了] をクリックする



- すぐに再起動しない場合は、[いいえ、後で再起動します。] を選択します。
  この場合、プリンタードライバーの設定は、コンピューターの再起動後に有効になります。

ローカル環境へのプリンタードライバーのインストール

- Windows XP の場合は、コンピューターの管理者のユーザーアカウントでログインしてください。
  Windows Server 2003/2000/NT の場合は、Administrator 権限でログインしてください。
- プリンタードライバーを削除（アンインストール）する場合は、付属の「Panasonic Document Management System CD-ROM」内の『取扱説明書（プリンタードライバー編）』を参照してください。

1. インストールする
（p.15 ～ p.16）

↓

2. コンピューターを再起動する
（p.16）

↓

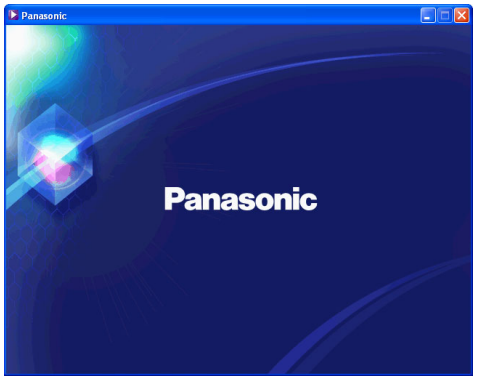
3. デバイスの設定をする
（p.17）

↓

4. 各種機能を設定する
「各種機能の設定」（p.22）を参照し、ご使用の環境に合わせて、各種機能を設定してください。

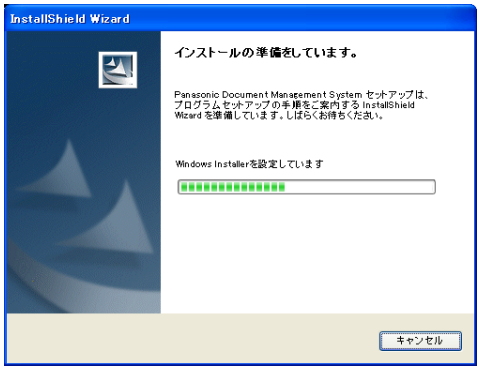
1 付属の「Panasonic Document Management System CD-ROM」を、お使いのコンピューターにセットする

CD-ROM が自動再生され、オープニング画面が表示されます。



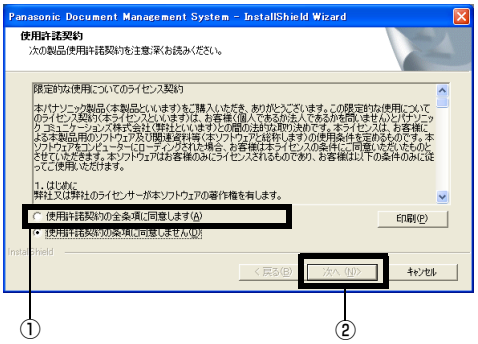
- オープニング画面が表示されない場合は、マイコンピューターを開き、CD-ROM ドライブ内の「Launch.exe」をダブルクリックしてください。

セットアップの準備画面が表示されます。

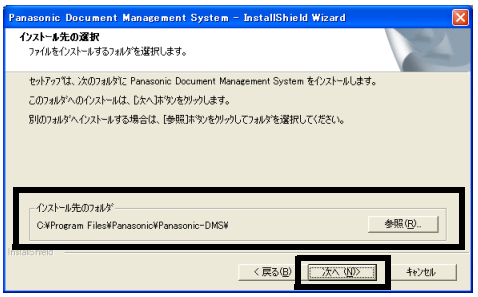


次のページへ続く

2 [使用許諾契約の全条項に同意します]を選択し、[次へ]をクリックする



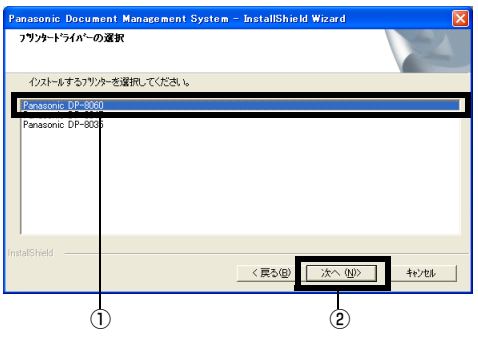
3 インストール先フォルダを確認し、[次へ]をクリックする



●すでに「Panasonic Document Management System」がインストールされている場合は、上記画面は表示されません。

4 プリンターを選択し、[次へ]をクリックする

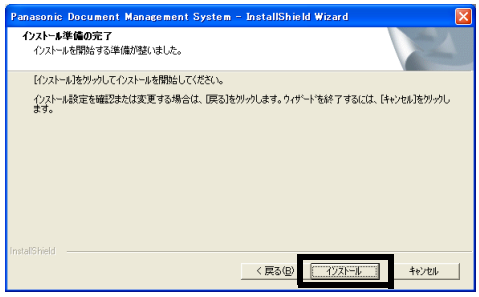
例：DP-8060



5 Panasonic DP-8060/8045/8035 を通常使うプリンターとして設定する場合は、[次へ]をクリックする

●ご使用のコンピューターにプリンターが何も設定されていないときは、上記の画面は表示されません。

6 [インストール]をクリックする

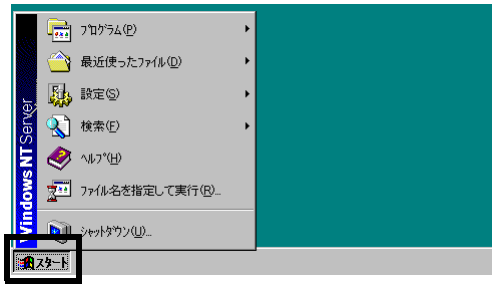


7 [はい、今すぐコンピュータを再起動します。]を選択し、[完了]をクリックする

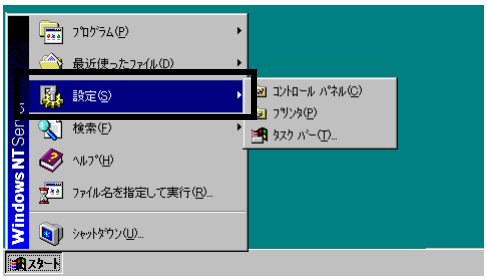
●すぐに再起動しない場合は、[いいえ、後で再起動します。]を選択します。
この場合、プリンタードライバーの設定は、コンピューターの再起動後に有効になります。

■ デバイスの設定

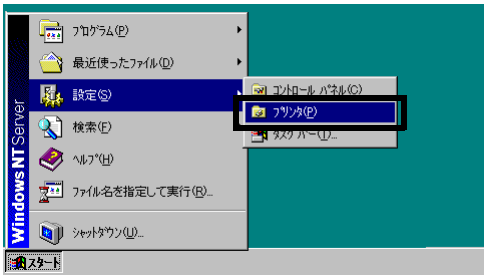
1 [スタート] をクリックする



2 ポインターを [設定] に合わせる

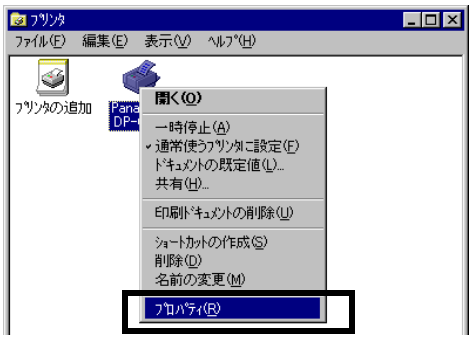


3 [プリンタ] をクリックする



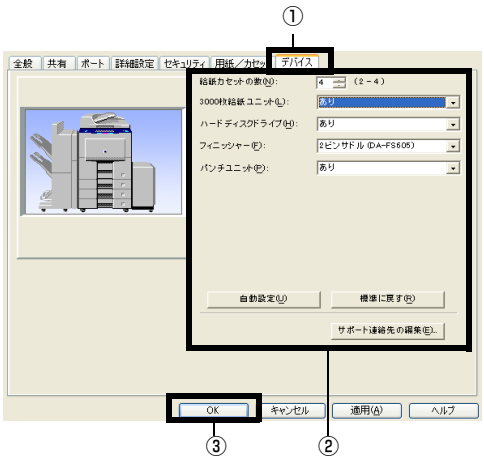
4 設定するプリンターを右クリックする

5 [プロパティ] をクリックする



次のページへ続く

6 [デバイス] をクリックし、デバイス情報を設定して［OK］をクリックする



■デバイスの設定内容

設定内容	設定値
給紙カセットの数 ・オプションの設置状況に合わせて設定します。	2～4
3000 枚給紙ユニット ・オプションの設置状況に合わせて設定します。	なし、あり
ハードディスクドライブ ・オプションのハードディスク装着時に設定します。	なし、あり
フィニッシャー ・オプションのフィニッシャーを装着時に設定します。	なし、 2 ビンサドル（DA-FS605）、 2 ビン（DA-FS330）、 1 ビンサドル（DA-FS355A）
パンチユニット ・オプションの 1 ビンサドルフィニッシャーにパンチユニット装着したときだけ設定します。	なし、あり

ファクスドライバーのインストール

ファクスドライバーをインストールすると、作成したアプリケーションソフトウェアの文書を、コンピューターから直接ファクス送信できます。

- Windows XP の場合は、コンピューターの管理者のユーザーアカウントでログインしてください。
  Windows Server 2003/2000/NT の場合は、Administrator 権限でログインしてください。
- ファクスドライバーを削除（アンインストール）する場合は、付属の「Panasonic Document Management System CD-ROM」内の『取扱説明書（プリンタードライバー編）』を参照してください。

1. インストールする
（p.19 ～ p.21）

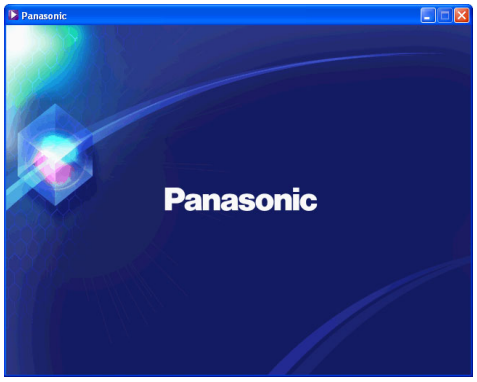
2. コンピューターを再起動する
（p.21）

3. デバイスの設定をする
（p.17）

4. 各種機能を設定する
「各種機能の設定」（p.22）を参照し、ご使用の環境に合わせて、各種機能を設定してください。

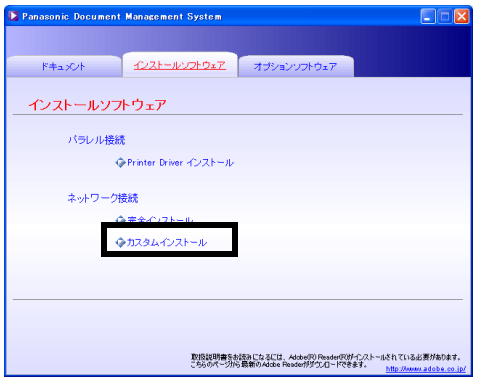
1 付属の「Document Management System CD-ROM」を、お使いのコンピューターにセットする

CD-ROM が自動再生され、オープニング画面が表示されます。



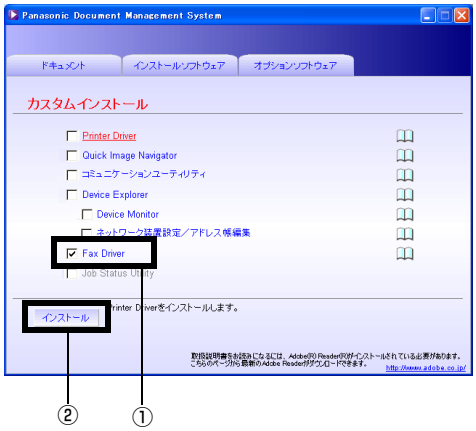
- オープニング画面が表示されない場合は、マイコンピューターを開き、CD-ROM ドライブ内の「Launch.exe」をダブルクリックしてください。

2 [カスタムインストール] をクリックする



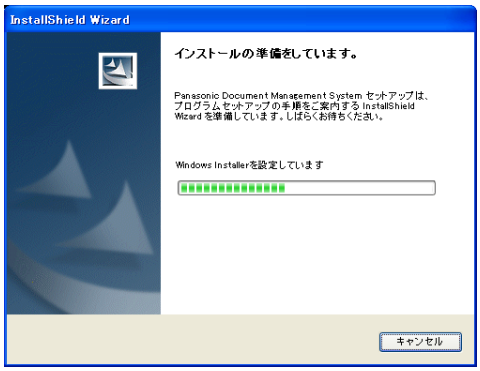
次のページへ続く

3 [Fax Driver] だけを選択し、[インストール] をクリックする

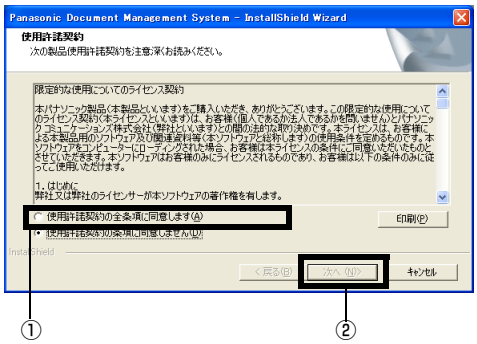


- Printer Driver、Quick Image Navigator、コミュニケーションユーティリティ、Device Explorer、Device Monitor、Job Status Utility は、あらかじめ選択されています。
  ☑をクリックして選択を取り消します。

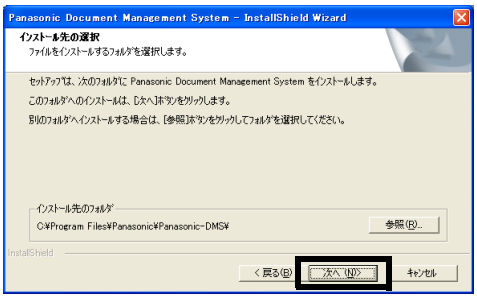
セットアップの準備画面が表示されます。



4 [使用許諾契約の全条項に同意します] を選択し、[次へ] をクリックする



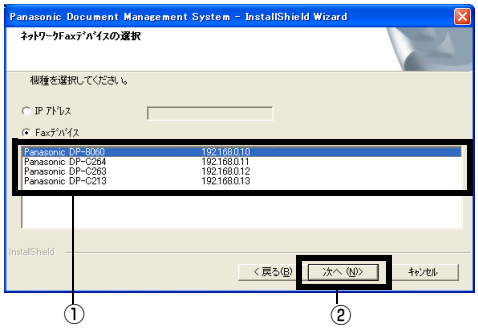
5 インストール先フォルダを確認し、[次へ] をクリックする



- すでに「Document Management System」がインストールされている場合は、上記画面は表示されません。
- ネットワークに接続しているファクスが自動的に検索され、画面に表示されます。

6 ファクスを選択し、[次へ] をクリックする

例：DP-8060

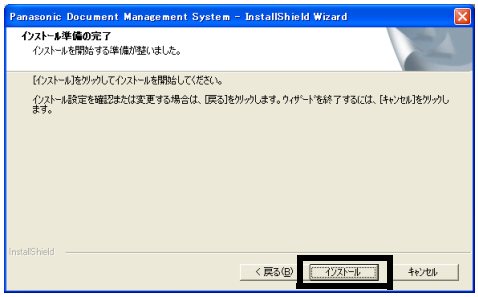


- 同一サブネットに接続されているファクスだけが検索されます。
- 次の場合は、ファクスが表示されないことがあります。IP アドレスを入力して [次へ] をクリックします。
  - ・サブネットが違う
  - ・ファクスがネットワークに接続されていない
  - ・ファクスの電源が入っていない

Windows XP Service Pack 2 がインストールされている場合は、下記の画面が表示されます。

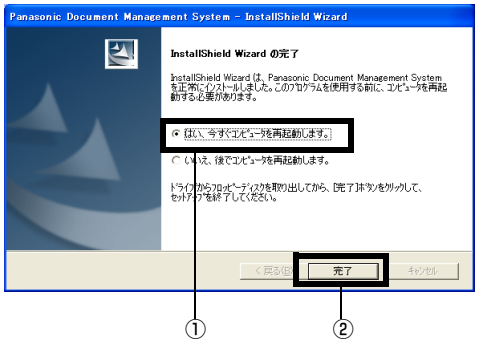
7 [接続を許可する（推奨）] を選択し、[次へ] をクリックする

8 [インストール] をクリックする



---

9 [はい、今すぐコンピュータを再起動します。] を選択し、[完了] をクリックする



- すぐに再起動しない場合は、[いいえ、後で再起動します。] を選択します。
  この場合、プリンタードライバーの設定は、コンピューターの再起動後に有効になります。

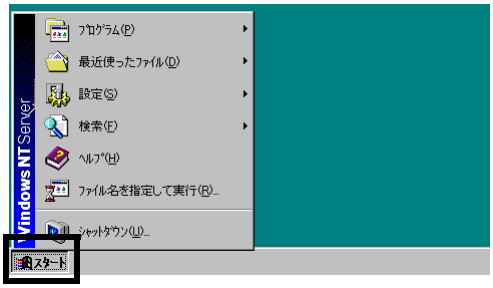
各種機能の設定

ネットワークプリンターの共有化

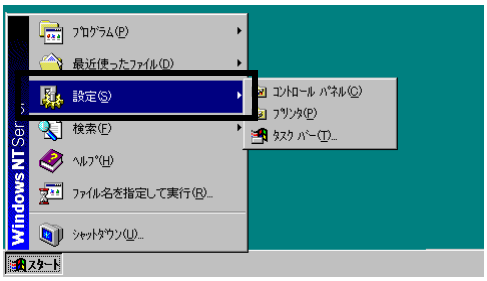
ネットワークプリントサーバー接続の場合は、プリンタードライバーのインストール後、ネットワークプリンターの共有設定をします。

■ 共有設定（Windows NT Server）

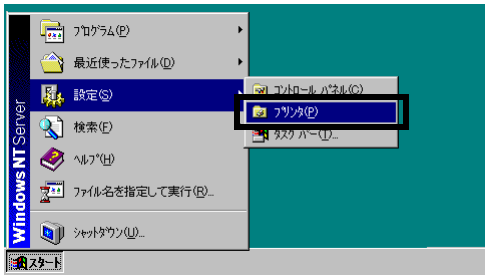
1 ［スタート］をクリックする



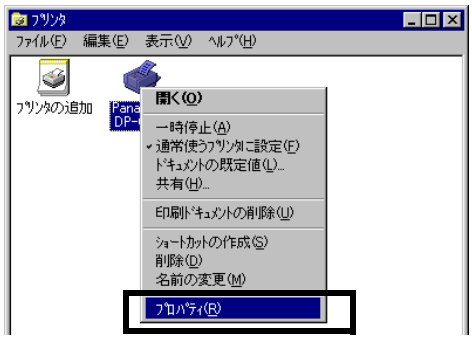
2 ポインターを［設定］に合わせる



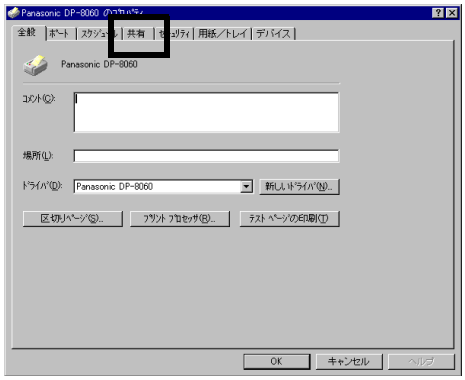
3 ［プリンタ］をクリックする



4 共有するプリンターを右クリックし、［プロパティ］をクリックする

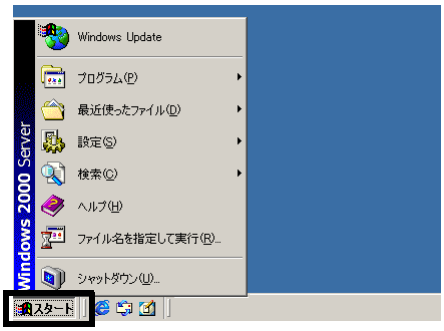


5 ［共有］をクリックする

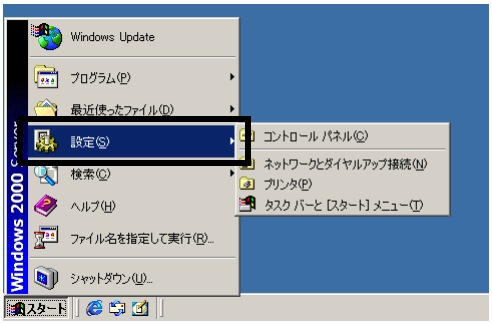


■共有設定
（Windows 2000 Server）

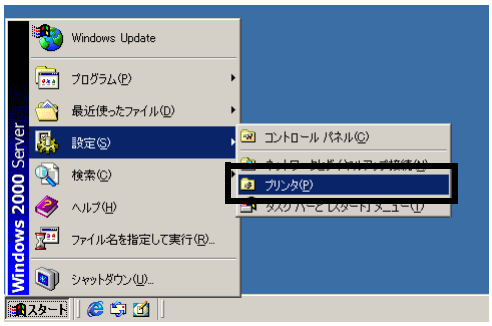
1 ［スタート］をクリックする



2 ポインターを［設定］に合わせる



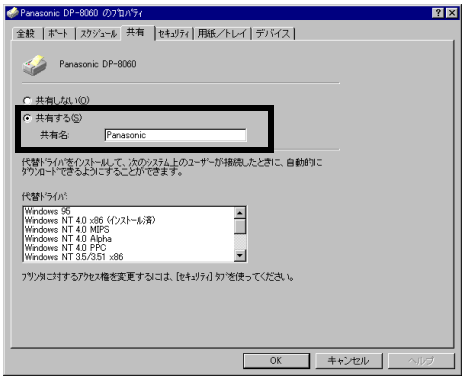
3 ［プリンタ］をクリックする



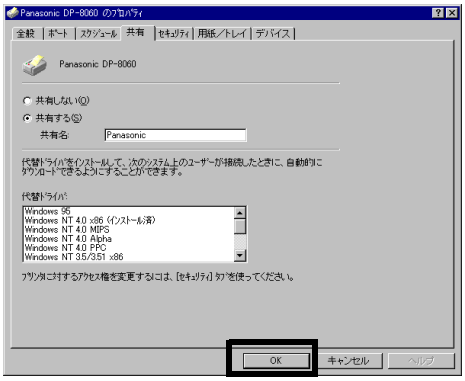
次のページへ続く

6 ［共有する］を選択し、［共有名］に共有名を入力する

例：［共有名］　Panasonic



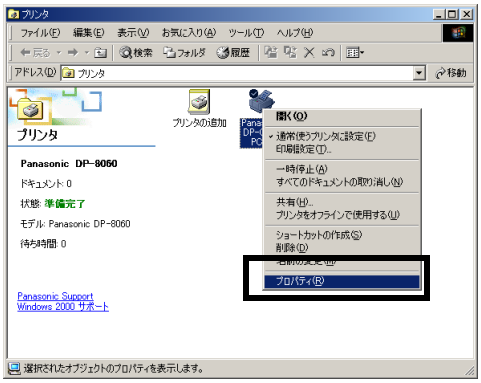
7 ［OK］をクリックする



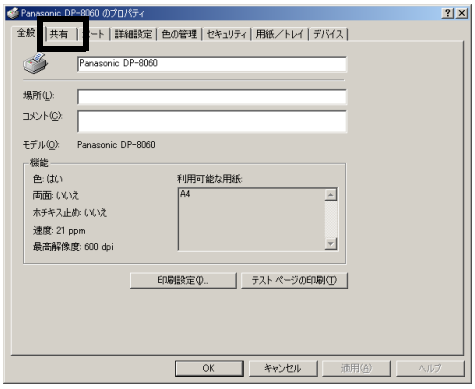
- 本機をほかの OS の Windows ユーザーと共有する場合、次の手順で追加ドライバーをインストールしてください。ほかの OS の Windows ユーザーがプリンタードライバーを検索する必要がなくなります。
  ① 「代替ドライバ」から OS を選択し、［OK］をクリックする
  ② 説明に従ってプリンタードライバーをインストールする

・専用のツールを利用すると、様々な OS のプリンタードライバーが格納されたフォルダーがデスクトップ上に追加され、上記の手順②で利用できます。「PrnCopy.exe について」（p.26）を参照してください。

4 共有するプリンターを右クリックし、[プロパティ] をクリックする

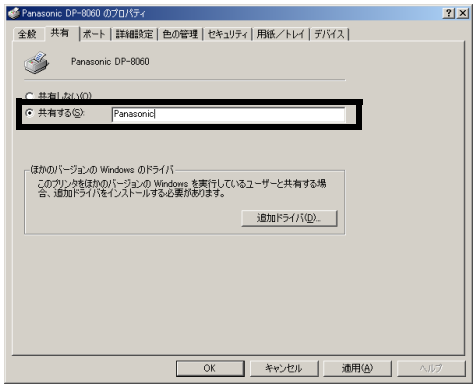


5 [共有] をクリックする

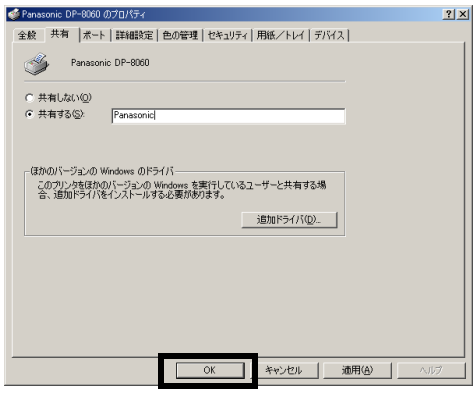


6 [共有する] を選択し、[共有名] に共有名を入力する

例 : [共有名]　Panasonic



7 [OK] をクリックする



●本機をほかの OS の Windows ユーザーと共有する場合、次の手順で追加ドライバーをインストールしてください。ほかの OS の Windows ユーザーがプリンタードライバーを検索する必要がなくなります。

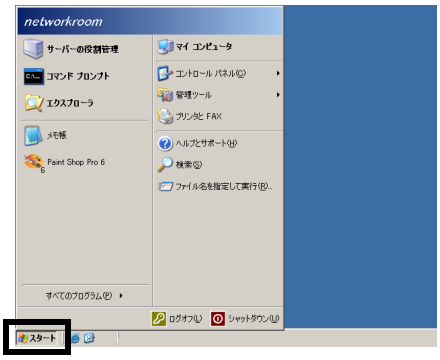
① [追加ドライバ] をクリック
② 表示された画面で、OS を選択し、[OK] をクリックする
③ 説明に従ってプリンタードライバーをインストールする

・専用のツールを利用すると、様々な OS のプリンタードライバーが格納されたフォルダーがデスクトップ上に追加され、上記の手順③で利用できます。「PrnCopy.exe について」(p.26) を参照してください。

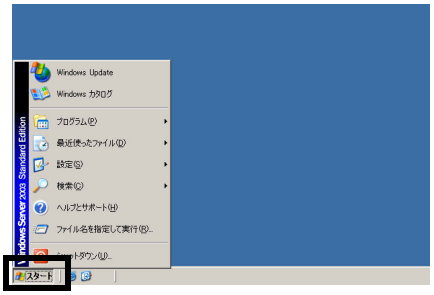
■ 共有設定（Windows Server 2003）

1 ［スタート］をクリックする

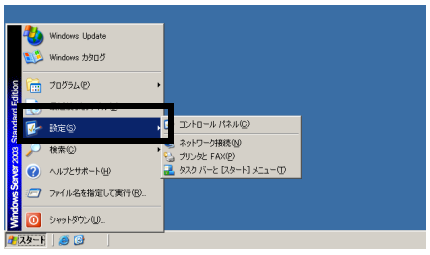
カテゴリの表示モードの場合：



クラシック表示モードの場合：

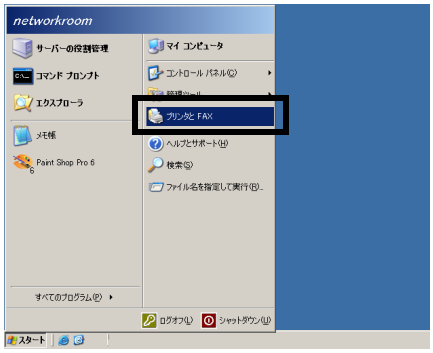


2 クラシック表示モードの場合は、ポインターを［設定］に合わせる

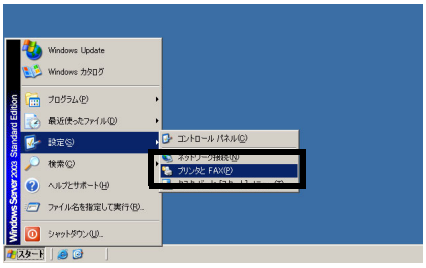


3 ［プリンタと FAX］をクリックする

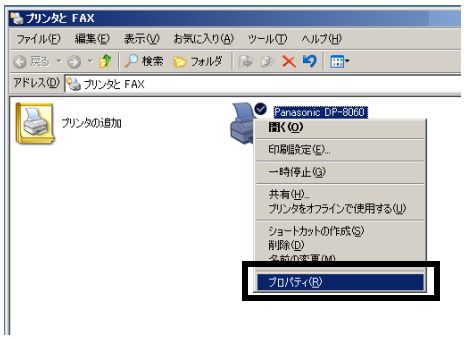
カテゴリの表示モードの場合：



クラシック表示モードの場合：

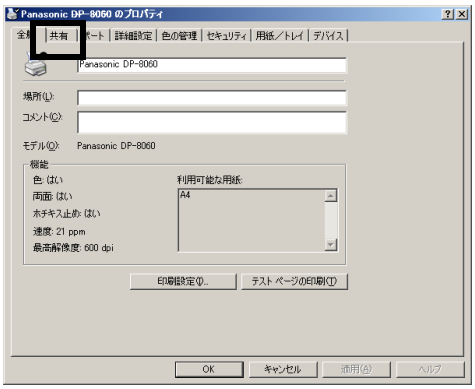


4 共有するプリンターを右クリックし、［プロパティ］をクリックする



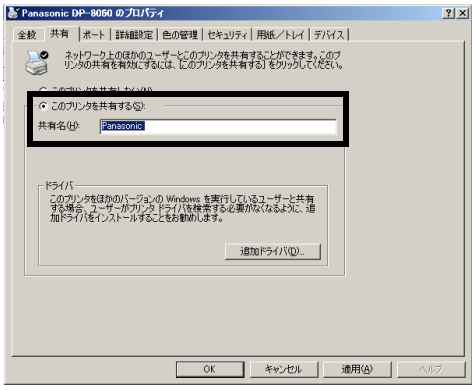
次のページへ続く

5 [共有] をクリックする

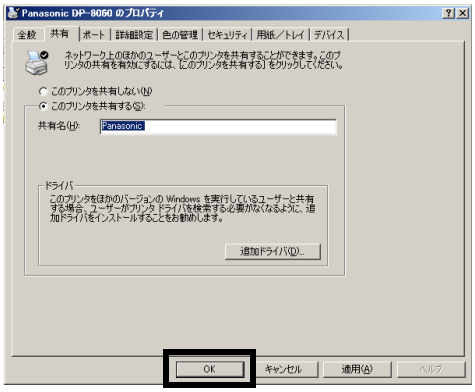


6 [このプリンタを共有する] を選択し、[共有名] に共有名を入力する

例 : [共有名]　Panasonic



7 [OK] をクリックする



●本機をほかの OS の Windows ユーザーと共有する場合、次の手順で追加ドライバーをインストールしてください。ほかの OS の Windows ユーザーがプリンタードライバーを検索する必要がなくなります。

① [追加ドライバ] をクリック
② 表示された画面で、OS を選択し、[OK] をクリックする
③ 説明に従ってプリンタードライバーをインストールする

・専用のツールを利用すると、様々な OS のプリンタードライバーが格納されたフォルダーがデスクトップ上に追加され、上記の手順③で利用できます。下記の「PrnCopy.exe について」を参照してください。

■ PrnCopy.exe について

ネットワークプリントサーバーとクライアントコンピューターの OS が異なる場合は、ネットワークプリンターの共有設定時に、ほかの OS のプリンタードライバーを追加しておくと便利です。

付属の「Panasonic Document Management System」CD-ROM 内の「PrnCopy.exe」を利用すると、デスクトップ上に様々な OS のプリンタードライバーが格納されたフォルダーを作成でき、ドライバーの追加インストール時に利用できます。

「PrnCopy.exe」は、共有設定の前に、あらかじめインストールしておいてください。

●「PrnCopy.exe」のインストール手順

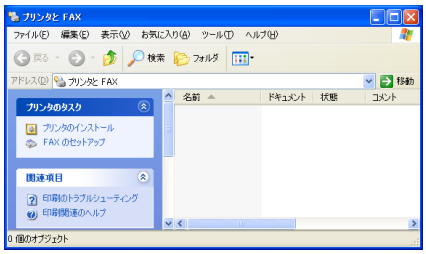
① エクスプローラーから「Panasonic Document Management System」CD-ROM を開く
② 「Tools」フォルダー、「PrnCopy」フォルダーの順に開く
③ 「PrnCopy.exe」をダブルクリックする
④ 表示された画面で、キーボードの **<Y> キー**、**<Enter> キー**の順に押す

デスクトップ上に「PrinterDrivers」フォルダーが作成されます。

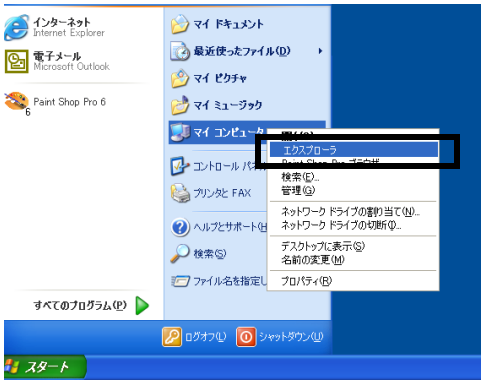
クライアントコンピューターの設定

ネットワークサーバー接続の場合は、プリンタードライバーのインストール後、クライアントコンピューターの設定をします。

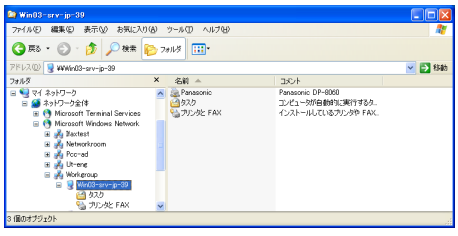
1 [スタート] をクリックし、[プリンタと FAX] を選択して下記画面を開く



2 [スタート] をクリックし、[マイコンピュータ] を右クリックし、[エクスプローラ] を選択する

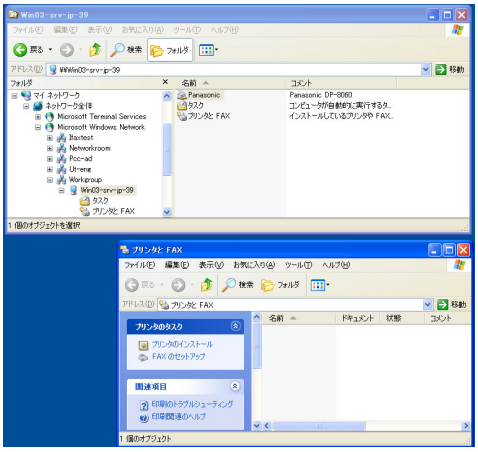


3 ネットワーク上のプリントサーバーで共有設定されたプリンターを選択する

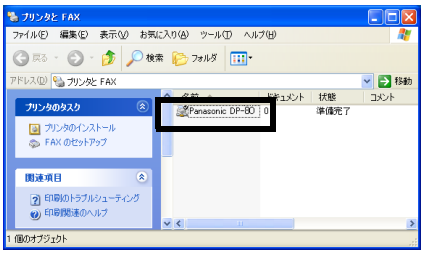


●プリントサーバーおよび共有設定されたプリンター名については、ネットワーク管理者へ確認してください。

4 プリンターのアイコンをプリンタと FAX 画面にドラッグアンドドロップする



5 プリンターのアイコンがプリンタと FAX 画面にコピーされていることを確認する

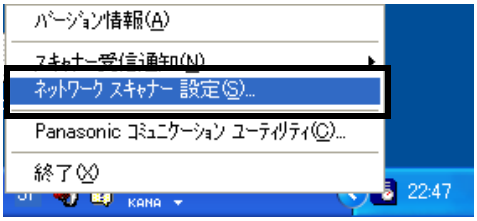


●ここでは、Windows XP の画面で説明しています。OS により画面は異なりますが、手順は基本的に同じです。

PC 情報の自動登録

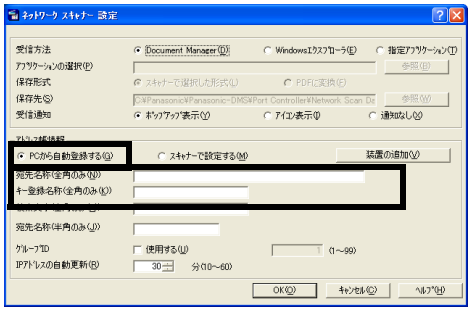
コミュニケーションユーティリティのインストール後、ネットワークスキャナーの設定をします。

1 タスクバーの［Panasonic コミュニケーションユーティリティ］アイコンを右クリックし、［ネットワークスキャナー設定 ］を選択する

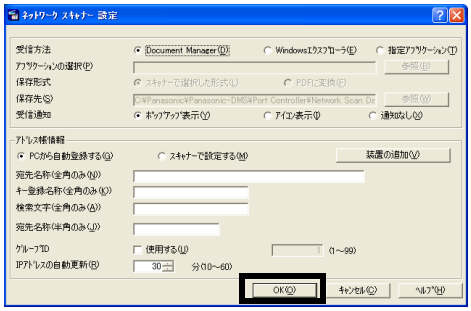


2 ［アドレス帳情報］の［PC から自動登録する］を選択し、宛先名称、キー登録名称を設定する

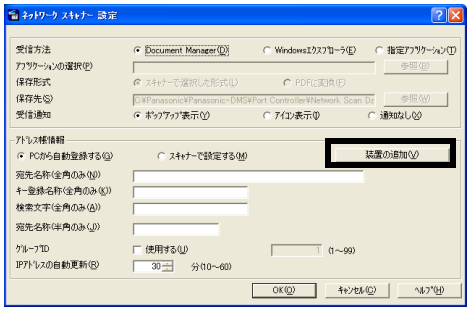
- 宛先名称：
  全角で 20 文字まで入力できます。
- キー登録名称：
  全角で 10 文字まで入力できます。

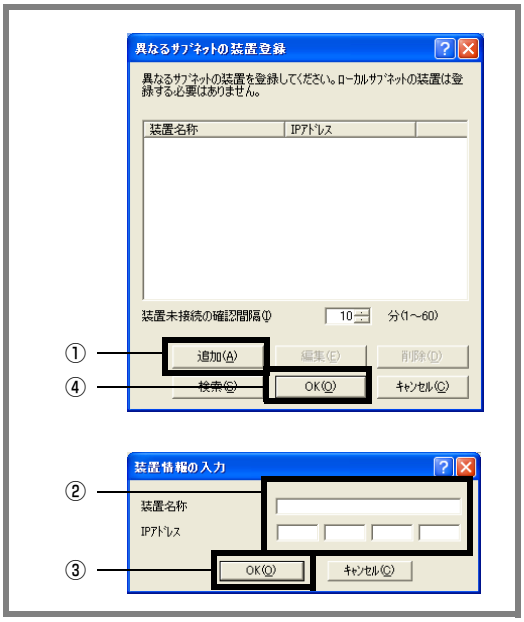


3 ［OK］をクリックする



コンピューターが、本機とは異なるサブネット上にある場合は、［装置の追加］をクリックする





① [追加] をクリック
② 本機のデバイス名と IP アドレスを入力
③ [OK] をクリック
④ [OK] をクリック

- サブネットについての詳細は、システム管理者にお問い合わせください。

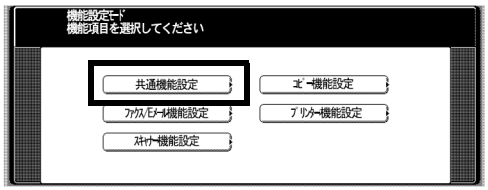
インターネット FAX/E メールの設定

インターネット FAX/E メールユニット（DA-NF600）を装着している場合は、本機の操作パネルでメール環境を設定します。

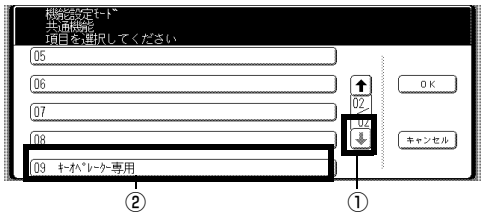
- 必要に応じてアドレス帳を登録します。『取扱説明書（基本編）』を参照してください。
- ネットワーク環境を設定する前に、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを本体に設定する必要があります。「ネットワーク環境の設定」（p.7）を参照してください。

1 ＜ファンクション＞を押す

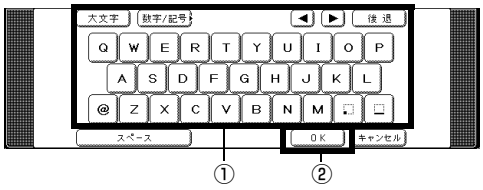
2 [共通機能設定] を押す



3 [↓] を押し、[09 キーオペレーター専用] を押す

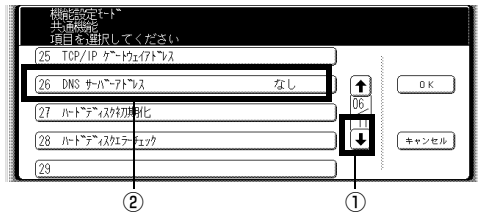


4 パスワード（8 桁）を入力し、[OK] を押す

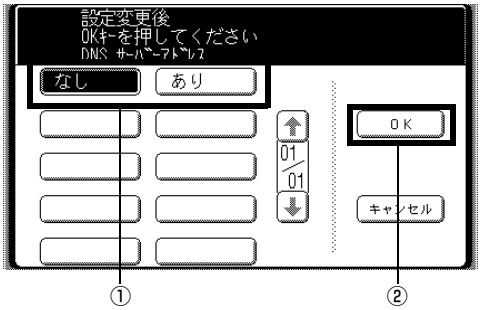


- パスワードの初期値は、「00000000」です。変更するときは、[50 キーオペレーターパスワード] で新しいパスワードを設定します。

5 [↓] を押し、[26 DNS サーバーアドレス] を押す



6 [あり] または [なし] を押し、[OK] を押す



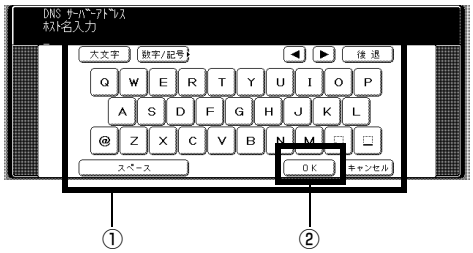
- [なし] を選択した場合は、手順 9 に進みます。

次のページへ続く

7 手順 6 で[あり]を選択したとき、ホスト名、ドメイン名、DNS サーバーアドレスを入力する

①「ホスト名」の下の空白部分を押す

② ホスト名（半角 60 文字以内）を入力して［OK］を押す



②「ドメイン名」の下の空白部分を押し、ドメイン名（半角 50 文字以内）を入力して［OK］を押す

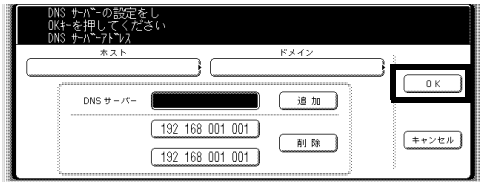
③「DNS サーバー」で DNS サーバーのアドレスをテンキーで入力して、［追加］を押す

・3 桁 x 4 のアドレス（数字）を入力してください。

・誤って入力したときは、操作パネルの**<クリアー>**を押して数字を削除し、正しい数字を入力します。

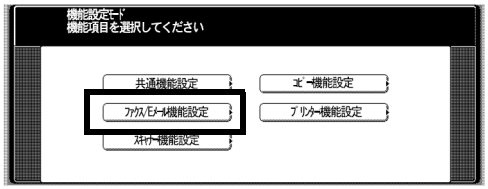
④［OK］を押す

8 ［OK］を押す

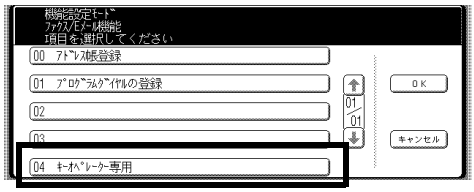


9 ［OK］を押す

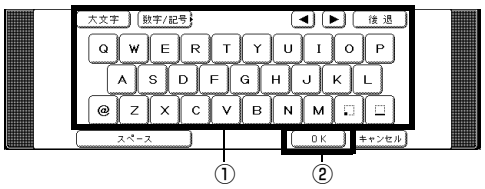
10 ［ファクス /E メール機能設定］を押す



11 ［04 キーオペレーター専用］を押す

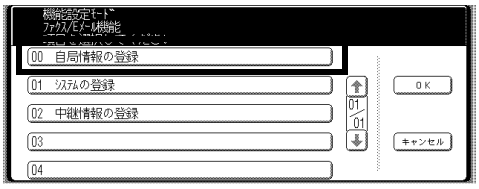


12 パスワード（8 桁）を入力し、［OK］を押す



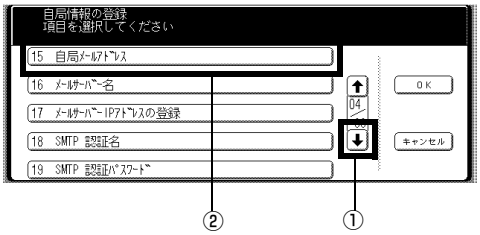
●パスワードの初期値は、「00000000」です。変更するときは、［50 キーオペレーターパスワード］で新しいパスワードを設定します。

13 [00 自局情報の登録] を押す

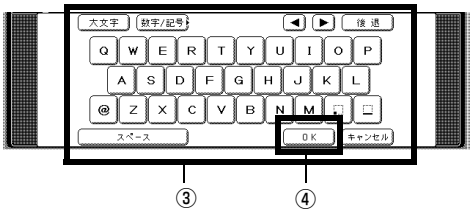


14 メールアドレスを設定する

① [▼] を押す
② [15 自局メールアドレス] を押す

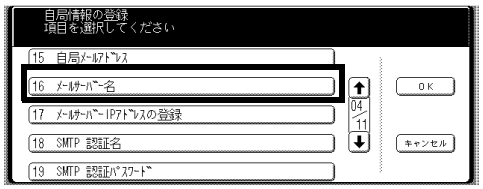


③ E メールアドレス（半角 60 文字以内）を入力する
④ [OK] を押す

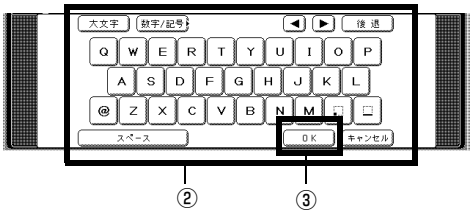


15 手順６で DNS サーバーアドレスを [あり] にしたときは、メールサーバー（SMTP サーバー）名を設定する

① [16 メールサーバー名] を押す

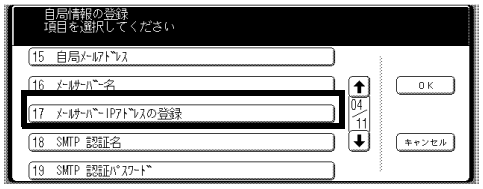


② メールサーバー（SMTP サーバー）名（半角 60 文字以内）を入力する
③ [OK] を押す



手順６で DNS サーバーアドレスを [なし] にしたときは、メールサーバー（SMTP サーバー）の IP アドレスを設定する

① [17 メールサーバー IP アドレスの登録] を押す



② テンキーでメールサーバー（SMTP サーバー）の IP アドレスを入力し、[OK] を押す

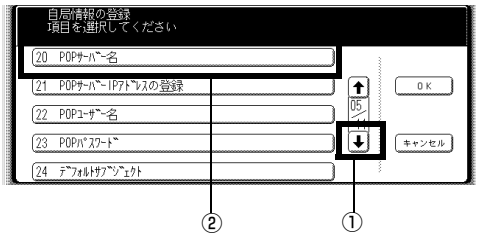
次のページへ続く

16 ポート番号を確認し、[OK] を押す

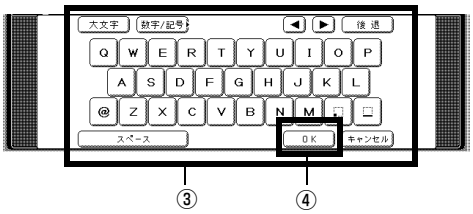
●ポート番号を変更するときは［変更］を押し、テンキーでポート番号を入力して［OK］を押します。

17 手順6で DNS サーバーアドレスを［あり］にしたときは、POP 受信サーバー名を設定する

① ⬇を押す
② ［20 POP サーバー名］を押す

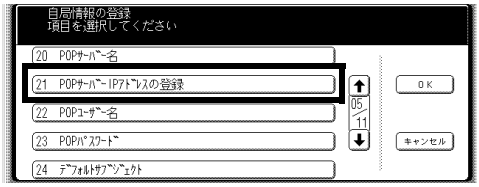


③ POP 受信サーバー名（半角 60 文字以内）を入力する
④ ［OK］を押す



手順6で DNS サーバーアドレスを［なし］にしたときは、POP 受信サーバーの IP アドレスを設定する

① ［21 POP サーバー IP アドレスの登録］を押す



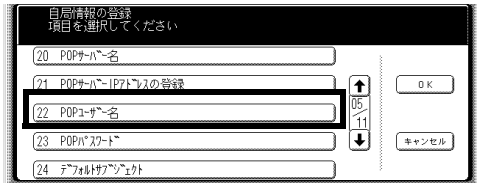
② テンキーで POP 受信サーバーの IP アドレスを入力する
③ ［OK］を押す

18 ポート番号を確認し、[OK] を押す

●ポート番号を変更するときは［変更］を押し、テンキーでポート番号を入力して［OK］を押します。

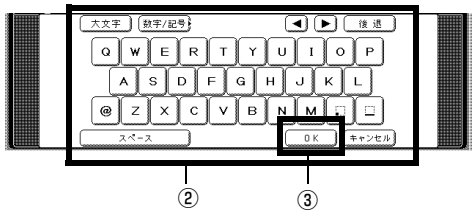
19 POP ユーザー名を設定する

① [22 POP ユーザー名] を押す



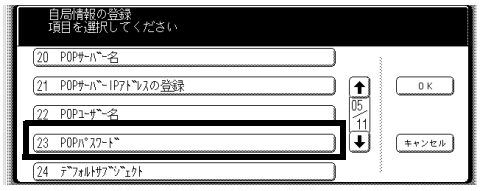
② POP ユーザー名（半角 40 文字以内）を入力する

③ [OK] を押す



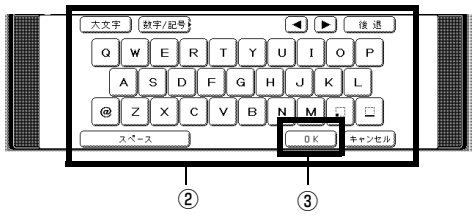
20 POP パスワードを設定する

① [23 POP パスワード] を押す

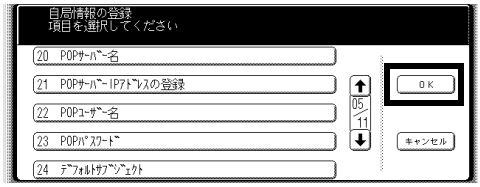


② POP パスワード（半角 10 文字以内）を入力する

③ [OK] を押す

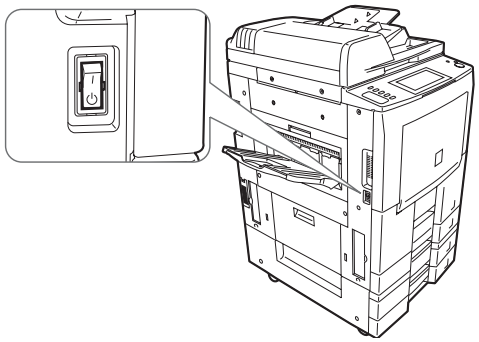


21 [OK] を押す



22 <リセット> を押す

23 スタンバイスイッチを切り、もう一度入れる



●スタンバイスイッチは本機の左側にあります。

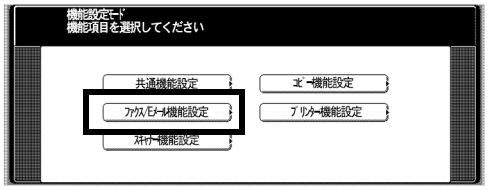
ファクスの設定

オプションの G3 通信ユニット（DA-FG432）を装着している場合は、本機の操作パネルで自局情報（発信元情報、文字 ID、数字 ID）、回線の種別を設定します。

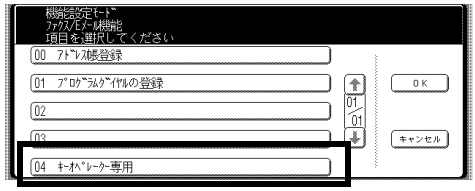
- 2回線の電話回線を接続する場合は、[08 回線2数字IDの登録]で2回線目の数字IDを設定してください。
- ネットワーク接続しないときは、DHCP 機能設定を［なし］に設定してください。（p.7）

1 ＜ファンクション＞を押す

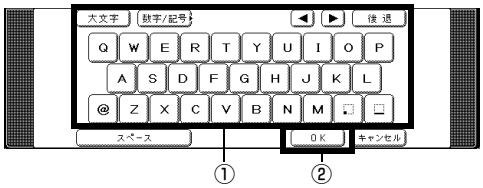
2 [ファクス /E メール機能設定]を押す



3 [04 キーオペレーター専用]を押す

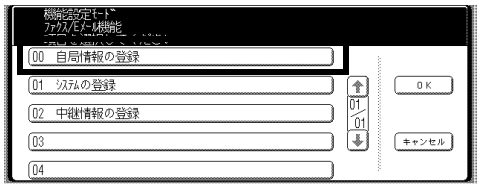


4 パスワード（8 桁）を入力し、[OK]を押す



●パスワードの初期値は、「00000000」です。変更するときは、[50 キーオペレーターパスワード]で新しいパスワードを設定します。

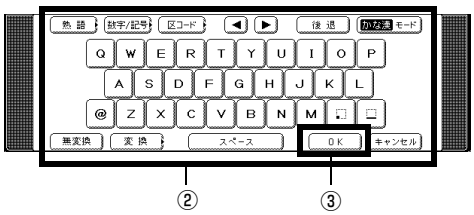
5 [00 自局情報の登録]を押す



■発信元記録

6 会社名、または自分の名前を入力する

① [01 発信元情報の登録]を押す
② 発信元情報（全角 20 文字以内）を入力する
③ [OK]を押す



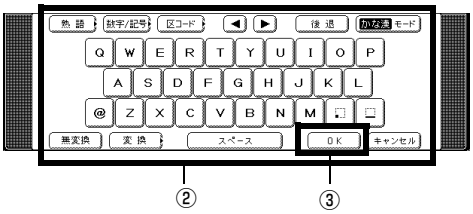
●誤って入力した場合は、次の手順で修正します。
(1) ◀ または ▶ を押し、修正したい文字の右側にカーソルを移動する
(2) [後退]を押して文字を削除し、正しい文字を入力する

● ISDN 回線を接続する場合は、『取扱説明書（G3 通信 / インターネット FAX/E メール編）』の付録を参照してください。
● 文字入力のしかたは、『取扱説明書（基本編）』の「文字入力のしかた」を参照してください。

■文字 ID

7 会社名、または自分の名前をカタカナで入力する

①［02 文字 ID（カナ）の登録］を押す
② 文字 ID（カナ）（半角 16 文字以内）を入力する
③［OK］を押す



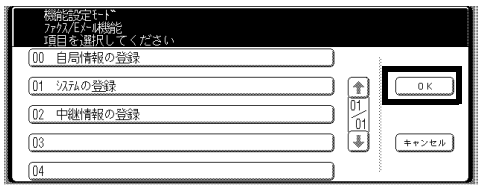
●半角英数字で入力することもできます。
●誤って入力した場合は、次の手順で修正します。
(1) ◀または▶を押し、修正したい文字の右側にカーソルを移動する
(2)［後退］を押して文字を削除し、正しい文字を入力する

■数字 ID

8 ファクスの電話番号を入力する

①［03 回線 1 数字 ID の登録］を押す
②ファクスの電話番号（最大 20 桁 / 半角スペースを含む）を入力し、［OK］を押す
●誤って入力した場合は、次の手順で修正します。
(1) ◀を押し、修正したい文字の右側にカーソルを移動する
(2)［クリアー］を押して文字を削除し、正しい文字を入力する
●数字 ID の前にプラス記号を付けると、続く番号が国際電話番号として登録できます。
例：＋ 81 3 111 2345
［*］81［モニター］3［モニター］111［モニター］2345
（＋81 は海外通信用の日本の国際電話コードです）

9 ［OK］を押す

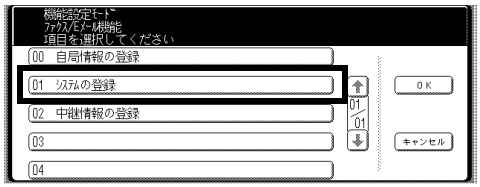


次のページへ続く

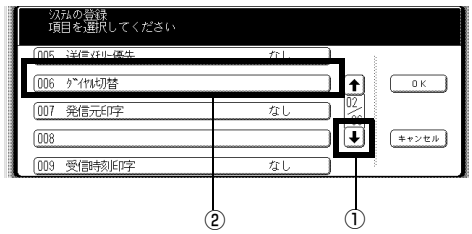
■ダイヤル切替

10 電話回線の種類を選択する

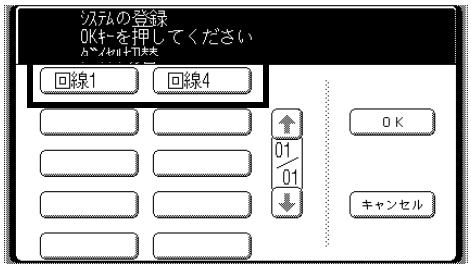
① [01 システムの登録] を押す



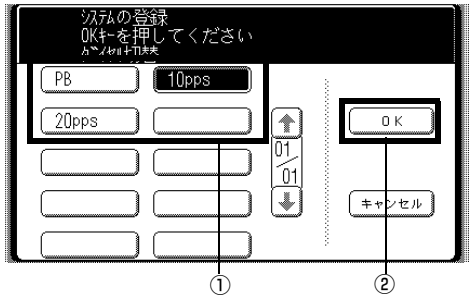
② [↓]を押し、[006 ダイヤル切替] を押す



③ オプションの G3 増設ユニット装着時のみ、設定する回線を選択する

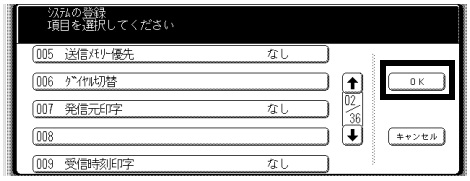


④ お使いの電話回線の回線種類を選択し、[OK] を押す



⑤ 増設回線がある場合は、手順③～④を繰り返す

11 [OK] を押す



12 <リセット> を押す

Job Status Utility の設定

Job Status Utility をインストールすることにより、プリント、コピーやファクスの動作が終了すると、コンピューターに終了通知のポップアップウィンド ウが表示されます。

1 付属の「Panasonic Document Management System」CD-ROM を使い、Job Status Utility をインストールする（p.11）

インストールが完了すると、タスクバーに Panasonic Job Status Utility アイコンが表示されます。

●タスクバーに Panasonic Job Status Utility アイ コンが表示されない場合は、[スタート] 、[すべてのプログラム]、[Panasonic]、[Job Status Utility]、[Job Status Utility] の順に選択します。Panasonic Job Status Utility アイコンが表示されます。

2 ■ PC ファクス、プリントの場合 Job Status Utility を右の手順で設定する

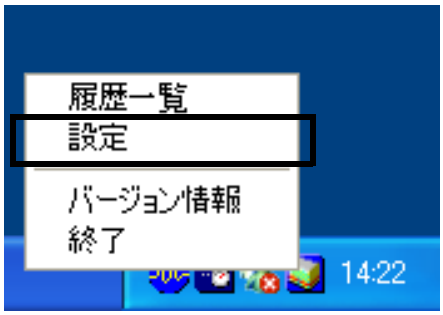
■コピー、ファクス、インターネット FAX の場合

①「 PC 情報の自動登録」（p.28）を参照してください。

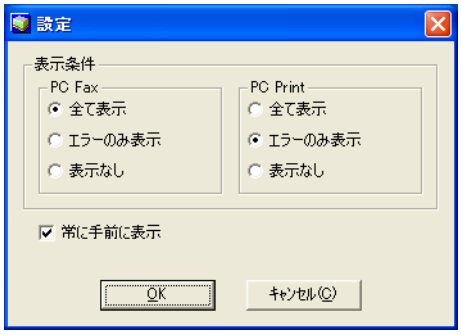
②本機のタッチパネルディスプレイで、コンピューターを選択します。詳しくは、CD-ROM 内の各機能の説明書を参 照してください。

■PC ファクス、プリントの場合

1 タスクバーの Panasonic Job Status Utility アイコンを右クリックし、[設定] を選択する



2 Job Status Utility ウィンドウの表示条件を選択し、[OK] を選択する



全て表示	すべての通信または印刷ごとに表示
エラーのみ表示	エラーが発生したときだけ表示
表示なし	表示しない

Memo

Memo

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　　月　　日	品番
販 売 店 名	電話（　　）　　-	
サ ー ビ ス 実施会社名	電話（　　）　　-	

パナソニック コミュニケーションズ株式会社
オフィスネットワークカンパニー

L1106-1126(01)
PJQMC0658ZB
December 2006
Printed in Japan

© 2006 Panasonic Communications Co., Ltd. All Rights Reserved.